

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		公園維持管理事業		担当課	公園緑地課	担当係	公園管理係	管理番号	46111	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市都市公園条例				
	小項目	3	地域の特色を生かした魅力ある景観形成							
	主要プロジェクト									
事業概要		市民の憩いの場や、子どもの安全な遊び場、災害時の一時的な避難に活用できる公園として適正に管理している。また、仙元山公園など一部の公園については、指定管理者制度の導入を図り管理運営を行なっている。								
目的 ※何のために		公園を市民が安心して利用出来るよう、安全で清潔な環境を維持管理する。								
対象 ※誰・何を対象に		総合公園：2公園、近隣公園：21公園、街区公園：102公園								
手段 ※どのように		市職員や指定管理者による巡視、点検、また専門業者による遊具点検の実施。植栽管理については業務委託により年間管理を実施。								
成果 ※何を求めるか		公園の施設管理における事故件数ゼロを求める。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	3	公園費	公園維持管理事業	289,680,403
本事業の 主な業務		公園維持管理							・	
		仙元山公園遊園地維持管理							・	
		指定管理者との連絡調整							・	
		子ども広場の管理							・	
									・	
									・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		指定管理者の選定					
事業費	予算（現額）	284,054,000	291,581,000	314,614,000	354,032,000		
	決算額	282,170,637	289,680,403	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	3,265,693	2,685,769	2,240,000	2,240,000	
		一般財源	278,904,944	286,994,634	312,374,000	351,792,000	
人件費	従事職員数（人）	4.30	4.30	4.30	4.30		
	人件費相当試算※	33,376,235	33,839,095	35,244,464	35,244,464		
総事業費試算		315,546,872	323,519,498	349,858,464	389,276,464		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	維持管理公園数（指定管理含む）	目標値	箇所	125.00	125.00					
		実績値		125.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			既設公園数＋新規整備完了公園数/公園一覧表						
	実績値の算出式									
活動指標 2	公園定期巡視回数	目標値	回	12.00	12.00					
		実績値		12.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			1公園当たりの巡視回数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	巡視等指摘箇所対応件数	目標値	件							
		実績値		694.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			報告は随時発生するので設定になじまない。 / 業務日報等からの報告						
	実績値の算出式									
成果指標 2	苦情対応率	目標値	%	100.00	100.00					
		実績値		100.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			苦情については実施の可否に関わらず対応することとしているため100%が望ましい / 苦情対応一覧表						
	実績値の算出式									
成果指標 3	公園施設管理上における事故件数	目標値	件	0.00						
		実績値		0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			発生しないことが望ましいので0を目標とする。 / 事故報告書等						
	実績値の算出式									
成果指標 4	公園利用者数	目標値	千人	398.16	372.91					
		実績値		386.39						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			貸出運動施設及びわんぱくランドの利用人数（過去3年の平均値を目標に設定） / 公園利用者集計表より						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	公園が市民の憩いの場となるよう、定期的な巡視を行い適正な管理を実施した。 巡視の結果、安全対策及び修繕箇所を発見し対応することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	施設の瑕疵による事故はなかった。 公園に対して、樹木の剪定、トイレの詰まり、害虫駆除等、利用者から苦情を受け、随時対応を行うことができた。 利用人数は、コロナウィルス対策の影響により、減少傾向になったと考える。利用人数はコロナウィルス対策の影響を加味し、評価を達成とした。
			評価者 公園緑地課 公園管理係長 大須賀浩行

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	公園管理について、指定管理者の導入及び市内業者へ委託することで、公園維持管理の効率性を上げている。
			評価者 公園緑地課 公園管理係長 大須賀浩行

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	公園維持管理事業	担当課	公園緑地課	担当係	公園管理係	管理番号	46111
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		公園利用者への安全確保と維持管理に努めることができた。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 公園緑地課長 澁澤武雄					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	園内の樹木の生長に伴う、枯れ葉や枝の剪定等に対して苦情が増加している。樹木の剪定時期を誤ると、樹木が弱ってしまう恐れがある為、剪定時期のタイミングにより苦情に対応した、剪定内容を進めていく必要がある。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	樹木の高木化、雑草の著しい成長速度により、現状の委託内容では住民が満足するような管理が難しくなっている。このため、植栽管理等の実施回数を増加させていく必要がある。

8. 評価指標グラフ

